

オレンジだより

鹿屋市地域包括支援センター 令和 6年 2月13日発行



認知症を知るための取り組み



R5年度 認知症と認知症予防のおはなし

大始良地区
メンタルホスピタル鹿屋
福原香織先生

第1部 サポート医の講話

輝北地区
グリーンバードクリニック
吉元和浩先生

患者さんの「幸せ」を
大切にしていってほしい
ことが伝わってきました。

認知症の方の深い
思いを伝えるDVDが、
胸を打ちました。

ご本人の思いに寄り添った対応が大切です！

地域リハビリテーション
住吉賢一先生

第2部 認知症予防教室

ウェルスポ鹿屋
引地優人先生

2重課題
2つのことを、同時に行う

バランス能力・筋
力を保ちましょう

片足立ち
60秒に挑戦

運動しながら**頭**を使いましょう！

足踏みしながら
いいとい

地域づくり出前講座
「認知症」

認知症になっても暮らしやすい地域
を作るために・・・
一緒に考えてみませんか。



吾平中央町の皆さん

お申し込みは
地域包括支援
センターまで

サポーター養成講座

認知症の基礎を学び、あなたも
認知症サポーターになりませんか。



サポーターの印
オレンジリング
をもらいます。



子供たちも学んでいます！
細山田小学校 4年生

若年性認知症とは

65歳未満で発症した認知症
全国に約3万6千人



講演会がありました



丹野智文さん。



下坂厚さん

39歳で認知症と診断された丹野さん、10年たった今でも、認知症の理解を訴えて全国で講演活動をされています。



46歳で認知症と診断された下坂さん、介護施設で働きながら、趣味の写真やSNSで発信する等、認知症理解を訴える活動をされています。

診断を受けた直後の絶望、うつ状態の暗いトンネルを、一歩踏み出して、病気をオープンにすることで、仲間ができて前向きに生きていける。という力強いメッセージが伝わってきました。

認知症になっても安心して暮らせるまち かのや

認知症について語りましょう！

～認知症の本人が、自分の気持ちを語り始めています。～
わかること、出来ることは沢山あるのに、「認知症」だからとあきらめて、あきらめさせていないでしょうか。出来ないことより出来ることを探す社会でありたいですね。

本人ガイド



本人がよりよく暮らしていくためのヒント

* 厚労省のホームページよりダウンロードできます。

集いの場

オレンジカフェ



毎月最終木曜日
13:30～15:30
東地区学習センター

認知症でも、認知症でなくても
居心地の良い場所
を目指しています。

パステルアート
に挑戦



- ・ 不安な気持ちを話せる場所
- ・ 本人同士が会う場所
- ・ 家族同士が語り合う場所
- ・ やりたいことを見つける場所

あなたの地域でも
オレンジカフェを
始めてみませんか！

★ 鹿屋市地域包括支援センターHPもご覧ください。

生きる 鹿屋市

検索



鹿屋市地域包括支援センター 吾平町麓56-4



45-6969

認知症地域支援推進員